

事業シート（概要説明書）						
仕分対象事業名（個別事業名）		鎌倉市シルバー人材センター運営費補助金				
中事業名		シルバー人材センター支援事業	担当部・課名	健康福祉部高齢者いきいき課		
総合計画上の位置付け（分野名）		健康福祉	担当名	いきいき福祉担当		
事業開始年度	昭和58年度	根拠法令	高齢者等の雇用の安定等に関する法律			
実施方法	直接実施					
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）					
	補助金〔直接・間接〕（補助先及び実施主体：社団法人 鎌倉市シルバー人材センター）					
	貸付（貸付先： ） その他（ ）					
事業概要	目的 （何のために）	高齢者の就業機会の確保と提供のため活動する社団法人の運営を支援するため。				
	対象 （誰・何を対象に）	社団法人 鎌倉市シルバー人材センター				
	事業内容 （手段、手法など）	公益法人である（社）鎌倉市シルバー人材センターに対し、運営費として市から補助金を交付している。事務所の人件費は、神奈川県シルバー人材センター連合会から（社）鎌倉市シルバー人材センターに交付される補助金を除いた額を補助金として交付決定し、年に2回に分けて支出している。年度終了後に精算し余剰金は返還させている。				
	事業の必要性	健康で働く意欲を持ち定年後も就業を希望する高齢者に、就業の機会を確保し、かつ提供することにより、高齢者の健康と生きがいの充実及び社会参加を促進し、もって活力ある地域社会づくりに寄与する（社）鎌倉市シルバー人材センターへの支援は必要な事業である。				
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数	
	事業費	51,889 千円	}	職員構成		平均人件費 ×従事職員数
	人件費	2,777 千円		担当正職員		2,777 千円
	総計	54,666 千円		臨時職員他		千円
事業費 （財源内訳・ 単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する 市の負担（支出）割合	平成22年度予算の財源内訳		
	H19(決算)	50,654	12.2%	国補助金	0	
	H20(決算)	52,521	13.3%	県補助金	0	
	H21(決算見込)	52,046	13.2%	起債	0	
	H22(予算)	51,889	12.8%	一般財源	51,889	
平成22年度 事業費内訳	平成22年度 シルバー人材センター 総予算 403,965千円 主な内訳 事業費 315,070千円 管理費 27,605千円 人件費 61,290千円 補助金 51,889千円					

<b>活動実績</b>	<b>【活動指標名】 / 年度実績・評価</b>	単位	H19年度	H20年度	H21年度																																																																																																									
	会員数	人	702	726	738																																																																																																									
	就業実人員数	人	565	565	576																																																																																																									
	就業延べ人員数	人	58,284	54,842	52,097																																																																																																									
<b>単位当たりコスト</b> (事業費/活動指標)	事業費 / 就業延べ人員数	円	869	958	999																																																																																																									
<b>成果目標</b> (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>事業を開始した昭和58年度から、登録会員数に対する就労実人員数の割合(実就労率)は60%弱から80%を推移している。          会員の中には、就労に結びつかなくても、人材センター会員間の交流を楽しみに参加されている方もいるが、人材センターの主目的であるより多くの会員の方に就労機会を提供できるよう人材センターに取り組み、実就労率を向上させる。</p>																																																																																																													
<b>成果実績</b> (成果指標の目標達成状況等)	<b>【成果指標名】 / 年度実績・評価</b>	単位	H19年度	H20年度	H21年度																																																																																																									
	実就労率(就労実人員数/会員数)	%	80	78	78																																																																																																									
<b>事業の自己評価</b> (今後の事業の方向性、課題等)	<p>現在の経済情勢から、大口の企業からの受注が減っており、受注件数の割には受注額が減少している。会員に対し、就労機会をコンスタントに提供できるよう人材センター事務局の受注先への働きかけの強化や、新規受注先の開拓などさらに徹底させていく。          シルバー人材センター事務局職員の給与は、市の給与体系に準じているため適正と判断されるが、職員の高齢化(6人中5人が50代)により、人件費の高騰とともに、今後職員の定年退職が続き、その後の組織運営が懸念される。</p>																																																																																																													
<b>比較参考値</b> (他自治体での類似事業の例など)	<p>県内 シルバー人材センター 職員数一覧表(H20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市名</th> <th>会員数</th> <th>常勤職員数</th> <th>非常勤職員数</th> <th>職員数計</th> <th>市名</th> <th>会員数</th> <th>常勤職員数</th> <th>非常勤職員数</th> <th>職員数計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横浜市</td> <td>12,068人</td> <td>26人</td> <td>12人</td> <td>38人</td> <td>三浦市</td> <td>218人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>川崎市</td> <td>3,671人</td> <td>14人</td> <td>10人</td> <td>24人</td> <td>秦野市</td> <td>564人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>横須賀市</td> <td>1,596人</td> <td>12人</td> <td>5人</td> <td>17人</td> <td>厚木市</td> <td>1,271人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>平塚市</td> <td>1,846人</td> <td>8人</td> <td>12人</td> <td>20人</td> <td>大和市</td> <td>723人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>鎌倉市</td> <td>726人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>伊勢原市</td> <td>733人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>藤沢市</td> <td>1,907人</td> <td>12人</td> <td>5人</td> <td>17人</td> <td>海老名市</td> <td>806人</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>小田原市</td> <td>998人</td> <td>7人</td> <td>2人</td> <td>9人</td> <td>座間市</td> <td>684人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>茅ヶ崎市</td> <td>1,072人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> <td>南足柄市</td> <td>337人</td> <td>2人</td> <td>10人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>相模原市</td> <td>3,439人</td> <td>21人</td> <td>13人</td> <td>34人</td> <td>綾瀬市</td> <td>504人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>										市名	会員数	常勤職員数	非常勤職員数	職員数計	市名	会員数	常勤職員数	非常勤職員数	職員数計	横浜市	12,068人	26人	12人	38人	三浦市	218人	2人	2人	4人	川崎市	3,671人	14人	10人	24人	秦野市	564人	3人	4人	7人	横須賀市	1,596人	12人	5人	17人	厚木市	1,271人	6人	4人	10人	平塚市	1,846人	8人	12人	20人	大和市	723人	5人	0人	5人	鎌倉市	726人	6人	0人	6人	伊勢原市	733人	4人	5人	9人	藤沢市	1,907人	12人	5人	17人	海老名市	806人	3人	6人	9人	小田原市	998人	7人	2人	9人	座間市	684人	4人	1人	5人	茅ヶ崎市	1,072人	5人	0人	5人	南足柄市	337人	2人	10人	12人	相模原市	3,439人	21人	13人	34人	綾瀬市	504人	2人	4人	6人
市名	会員数	常勤職員数	非常勤職員数	職員数計	市名	会員数	常勤職員数	非常勤職員数	職員数計																																																																																																					
横浜市	12,068人	26人	12人	38人	三浦市	218人	2人	2人	4人																																																																																																					
川崎市	3,671人	14人	10人	24人	秦野市	564人	3人	4人	7人																																																																																																					
横須賀市	1,596人	12人	5人	17人	厚木市	1,271人	6人	4人	10人																																																																																																					
平塚市	1,846人	8人	12人	20人	大和市	723人	5人	0人	5人																																																																																																					
鎌倉市	726人	6人	0人	6人	伊勢原市	733人	4人	5人	9人																																																																																																					
藤沢市	1,907人	12人	5人	17人	海老名市	806人	3人	6人	9人																																																																																																					
小田原市	998人	7人	2人	9人	座間市	684人	4人	1人	5人																																																																																																					
茅ヶ崎市	1,072人	5人	0人	5人	南足柄市	337人	2人	10人	12人																																																																																																					
相模原市	3,439人	21人	13人	34人	綾瀬市	504人	2人	4人	6人																																																																																																					
<b>特記事項</b> (事業の沿革等)	<p>昭和58年度に「社団法人シルバー人材センター鎌倉市高齢者事業団」が設立されて以来、当初は市職員が出向して事務を行っていたが、その後市職員を引き上げ人材センター採用の職員のみで事務を行ってきた。</p>																																																																																																													